

# 最近の経済動向

平成30年7月号

北海道の景気動向(平成30年5月の経済指標を中心として)

## 持ち直している

### ■ 鉱工業生産動向

- P 1 生産活動(鉱工業生産指数)  
持ち直しの動きがみられる

### ■ 需要動向(消費・投資)

- P 2 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、  
専門量販店販売額、新車登録台数)  
回復しつつある

- P 3 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
減少している

- P 4 公共工事(公共工事請負金額)  
減少している

- P 4 観光(来道者数)  
改善が進んでいる

- P 5 輸出入(輸出入額)  
輸出額、輸入額とも前年を上回った

### ■ 企業倒産

- P 6 企業倒産(件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額とも減少した

### ■ 雇用動向

- P 7 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)  
改善が進む中、人手不足感がみられる

- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

### ■ 物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を上回った

### ■ 企業の業況感

- P 8 企業経営者意識調査  
前期から下降している

### ■ 企業情報

- P 9 企業のみなさまから伺いました

### ■ 地域の経済動向

- P 10 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

### ■ 景気動向指数

- P 16 北海道の景気動向指数

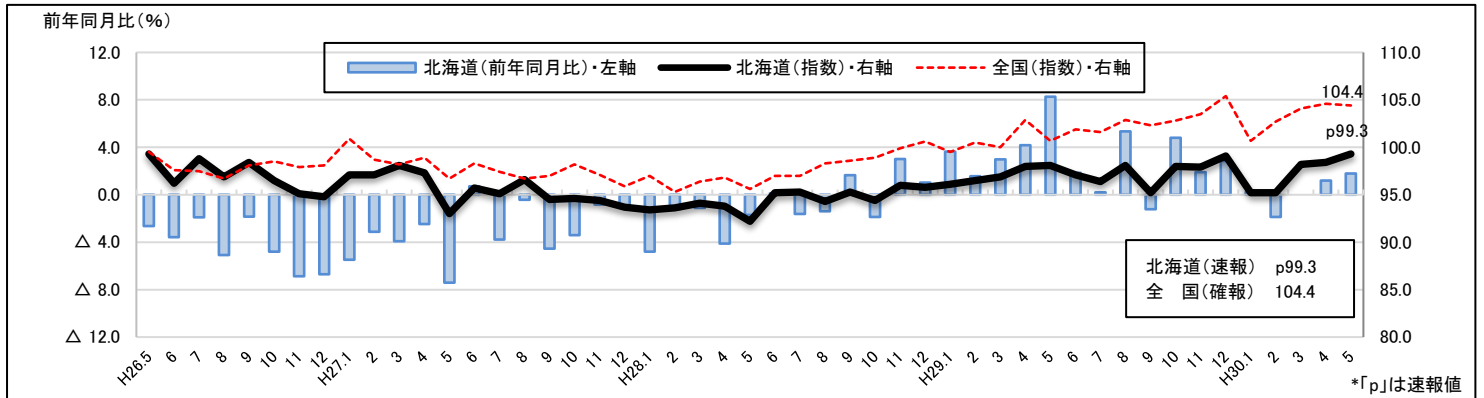
# 生産活動～持ち直しの動きがみられる

## 鉱工業生産指数（5月）

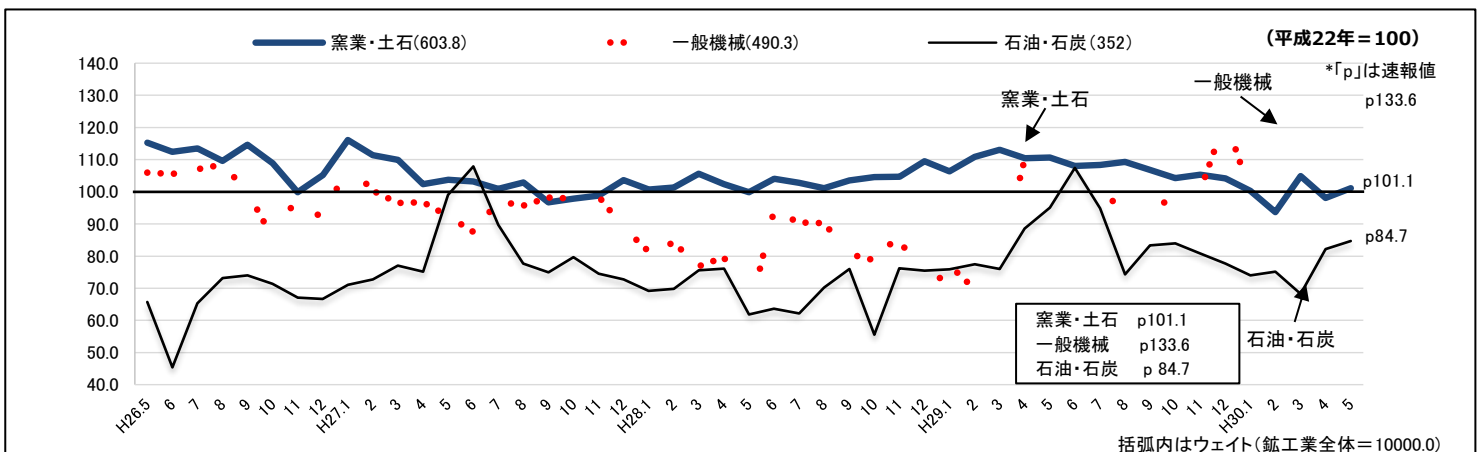
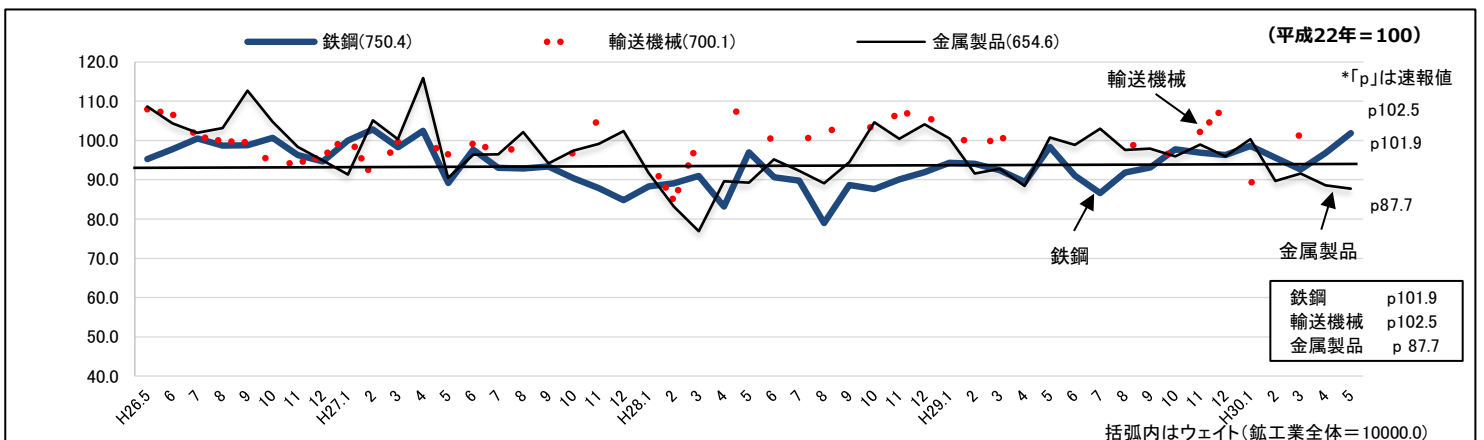
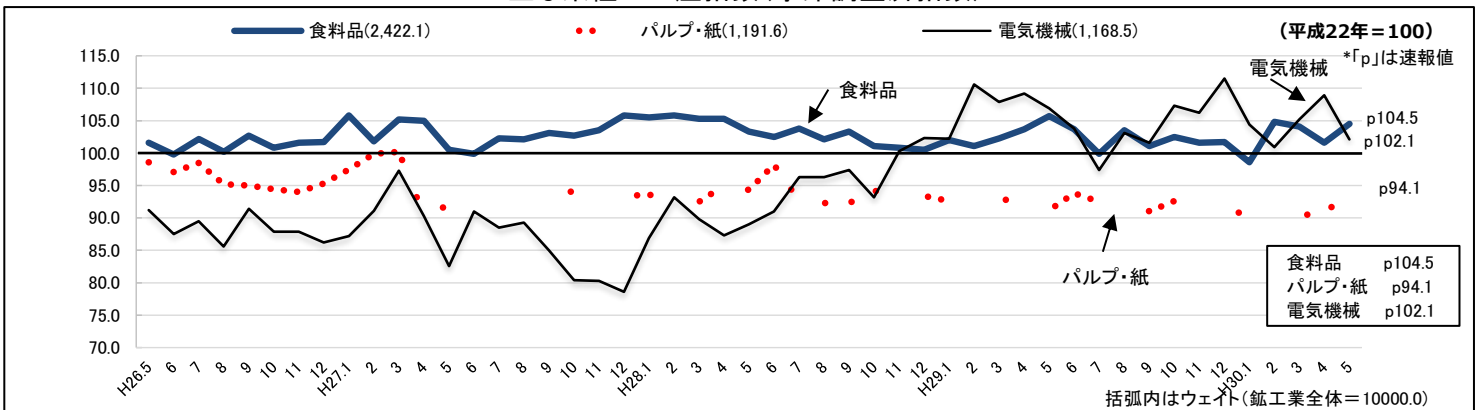
鉱工業生産指数(季節調整済)は、99.3で前月比+0.9%(3ヶ月連続の上昇)であり、前年同月比は、+1.8%(2月連続の上昇)となった。業種別にみると、鉄鋼業等12業種が前月比上昇、電気機械工業等の4業種が前月比低下となった。

鉱工業生産指数(季節調整済指数)

(平成22年=100)



主な業種の生産指数(季節調整済指数)



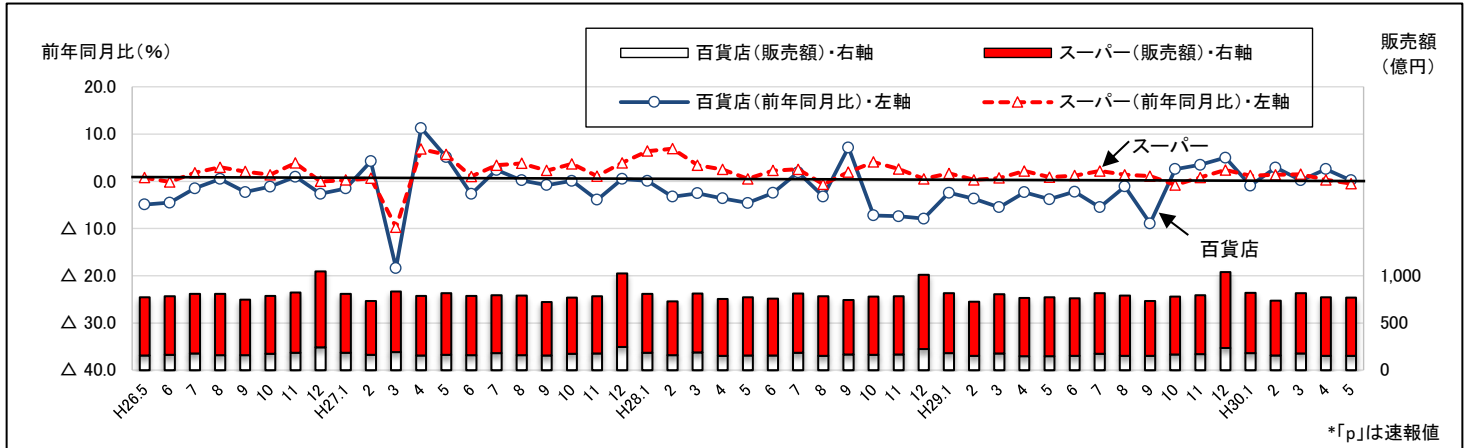
(資料：北海道経済産業局)

## ■個人消費～回復しつつある

### 百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(5月)

- ・百貨店の販売額は、150億円で前年同月比0.2%の増加となり、4ヶ月連続で前年を上回った。品目別にみると、衣料品、身の回り品、飲食料品は前年を下回ったものの、その他は前年を上回った。
- ・スーパーの販売額は、618億円で同0.5%の減少となり、7ヶ月ぶりに前年を下回った。品目別にみると、飲食料品は前年を上回ったものの、衣料品、身の回り品、その他は前年を下回った。

百貨店・スーパー販売額と前年同月比【全店ベース】

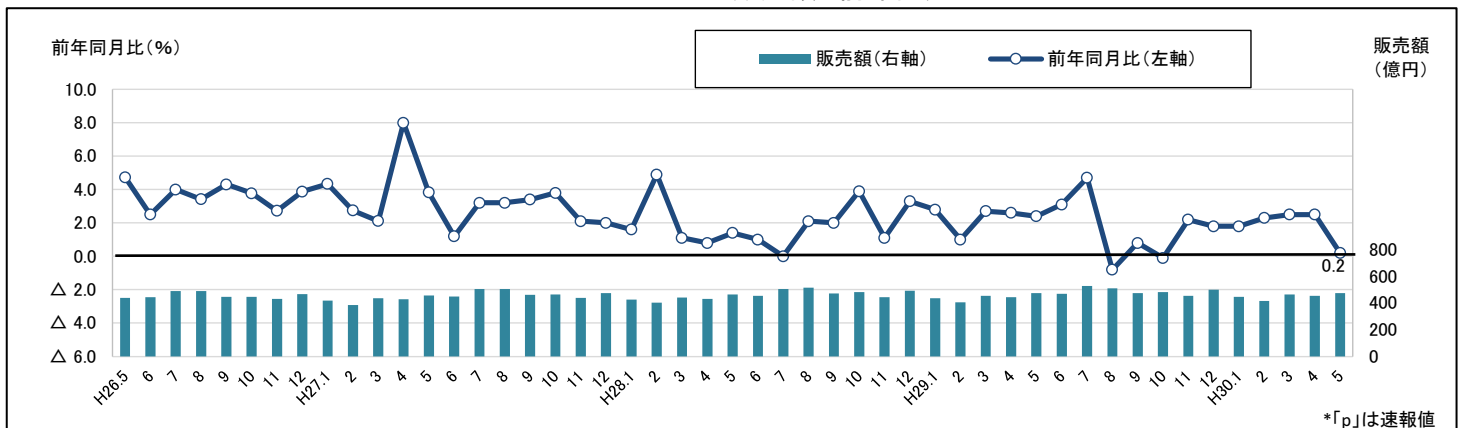


(資料：北海道経済産業局)

### コンビニエンスストア販売額(全店)(5月)

- ・コンビニエンスストア販売額は、475億円で前年同月比0.2%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

コンビニエンスストア販売額と前年同月比

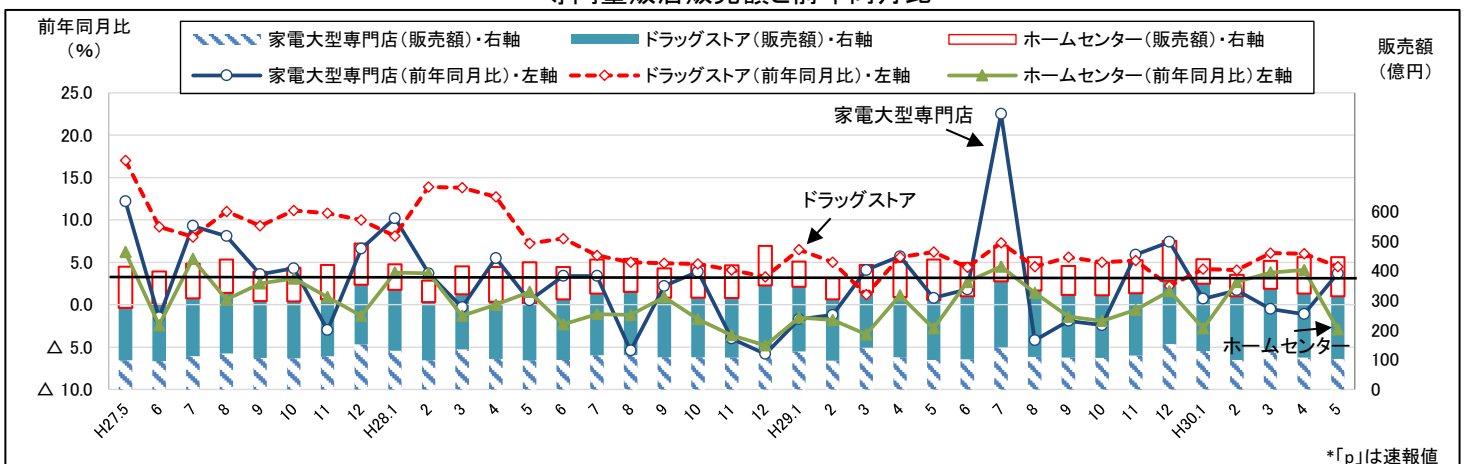


(資料：経済産業省)

### 専門量販店販売額(5月)

- ・家電大型専門店販売額は、103億円で同3.7%の増加となり、3ヶ月ぶりに前年を上回った。
- ・ドラッグストア販売額は、211億円で前年同月比4.5%の増加となり、37か月連続で前年を上回った。
- ・ホームセンター販売額は、132億円で同2.9%の減少となり、4ヶ月ぶりに前年を下回った。

専門量販店販売額と前年同月比

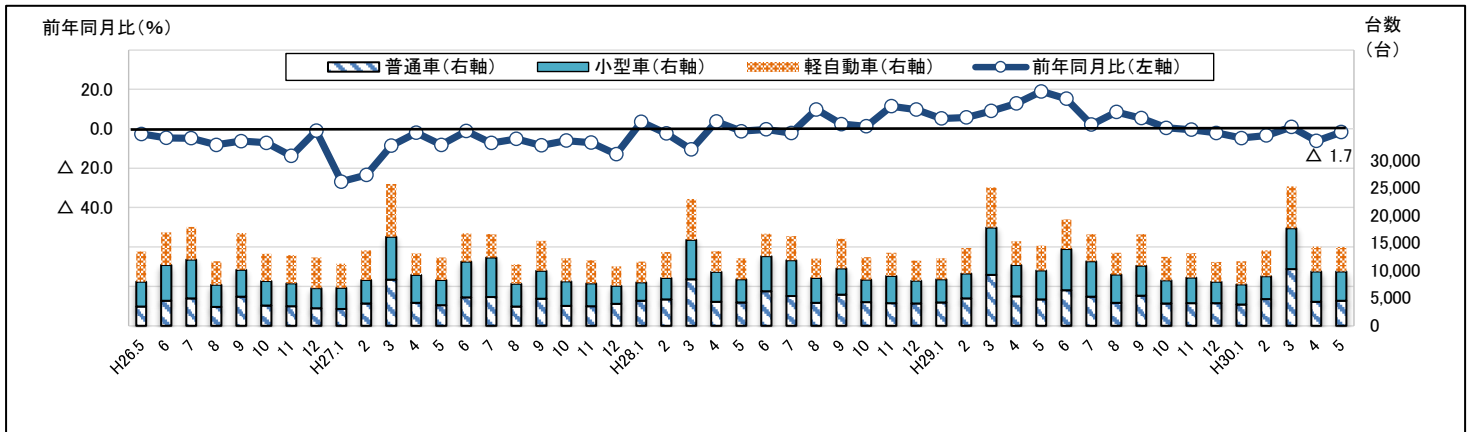


(資料：経済産業省)

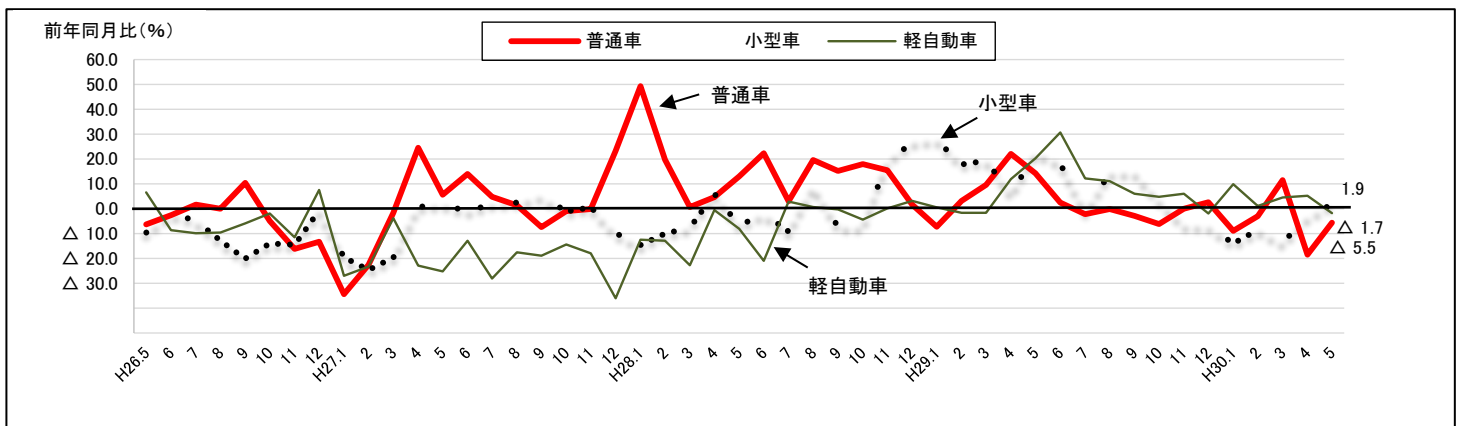
## 新車登録台数（5月）

新車登録台数は、14,298台で前年同月比1.7%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。  
 車種別にみると、普通車は、4,534台で同5.5%の減少、小型車は、5,298台で同1.9%の増加、軽自動車は、4,466台で同1.7%の減少となった。

新車販売台数と前年同月比



車種別販売台数の前年同月比



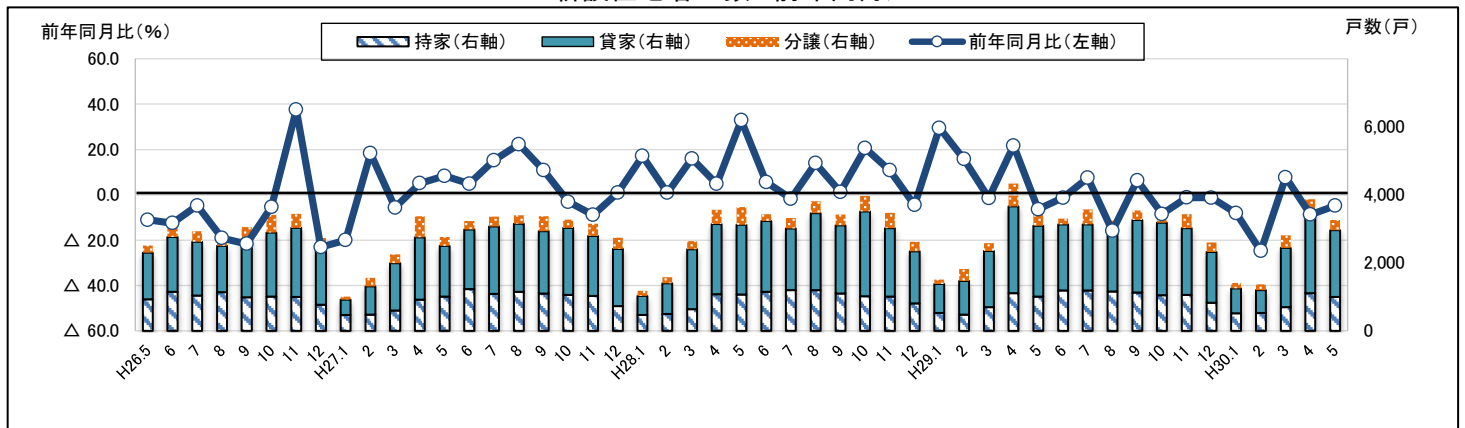
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

## 住宅建設～減少している

### 新設住宅着工戸数（5月）

住宅着工戸数は、3,282戸で前年同月比4.8%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。  
 利用関係別にみると、持家は、999戸で同1.1%の減少、貸家は、1,962戸で同5.9%の減少、分譲住宅は、297戸で同12.6%の減少となった。

新設住宅着工数と前年同月比



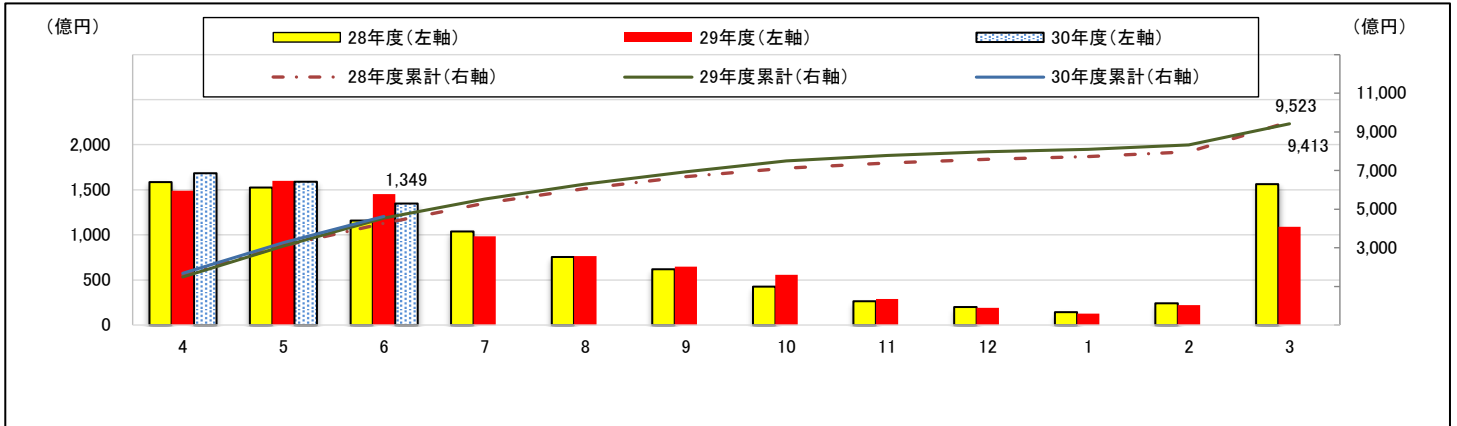
(資料：国土交通省)

## ■公共工事～減少している

### 公共工事請負金額（6月）

請負金額は、1,349億円で前年同月比7.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。工事目的別にみると、生活基盤が504億円(全体の37.4%)、産業基盤が337億円(同25.0%)、農林・水産が308億円(同22.9%)、治山・治水が135億円(同10.0%)、その他が63億円(同4.7%)となっている。

公共工事請負金額



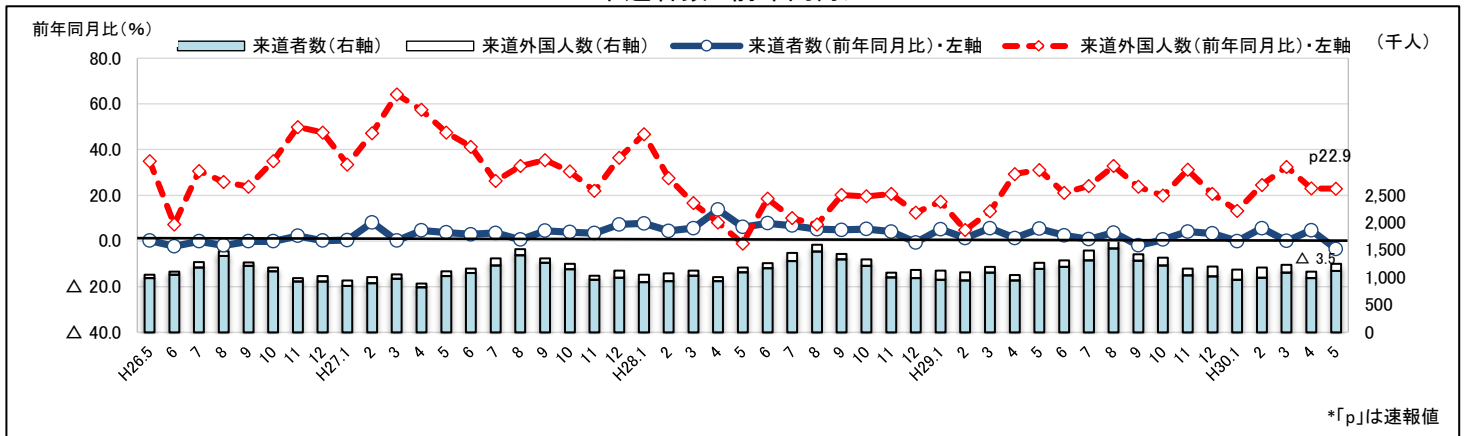
(資料：(株)北海道建設業信用保証)

## ■観 光～改善が進んでいる

### 来道者数（5月）

来道者数は、111万7千人で前年同月比3.5%の減少となり、4か月ぶりに前年を下回った。本道に直接入国した外国人は、13万5千人で同22.9%の増加となり、24か月連続で前年を上回った。

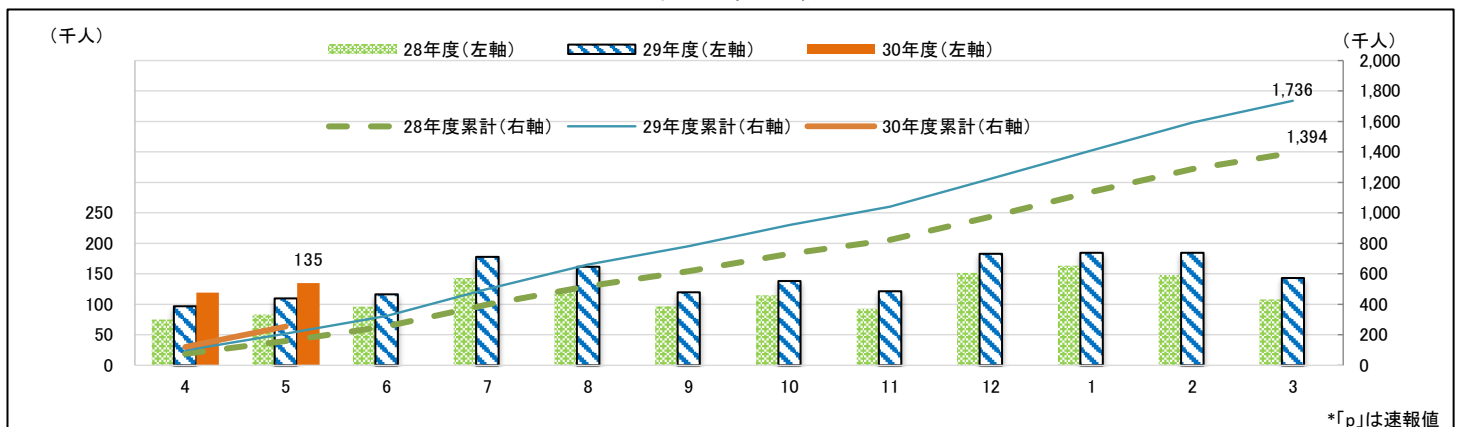
来道者数と前年同月比



\*「p」は速報値

(資料：(公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局)

来道外国人数



\*「p」は速報値

(資料：法務省入国管理局)

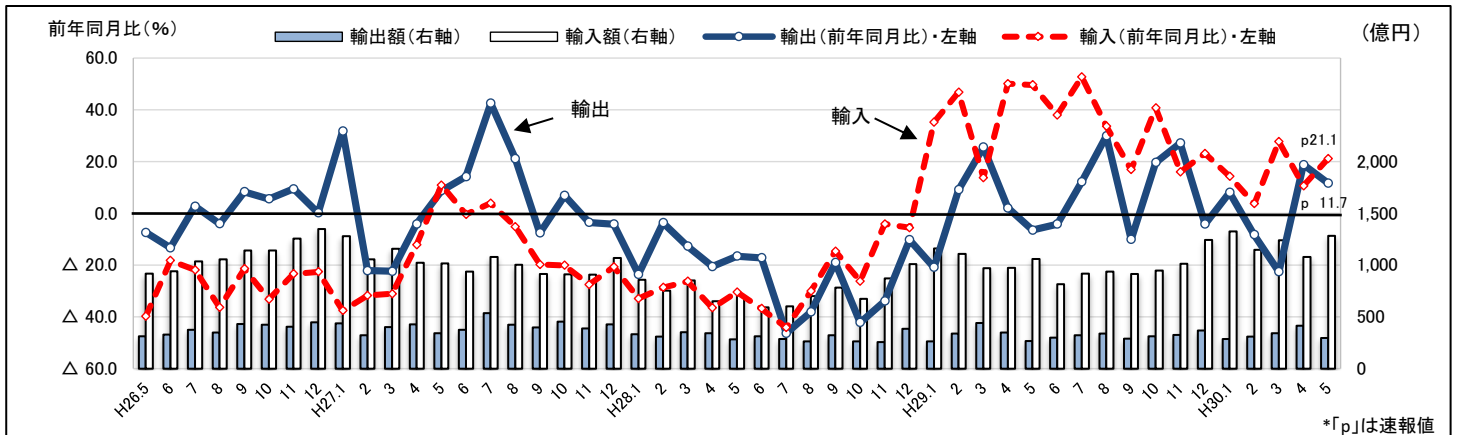
# 輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

## 輸出入額（5月）

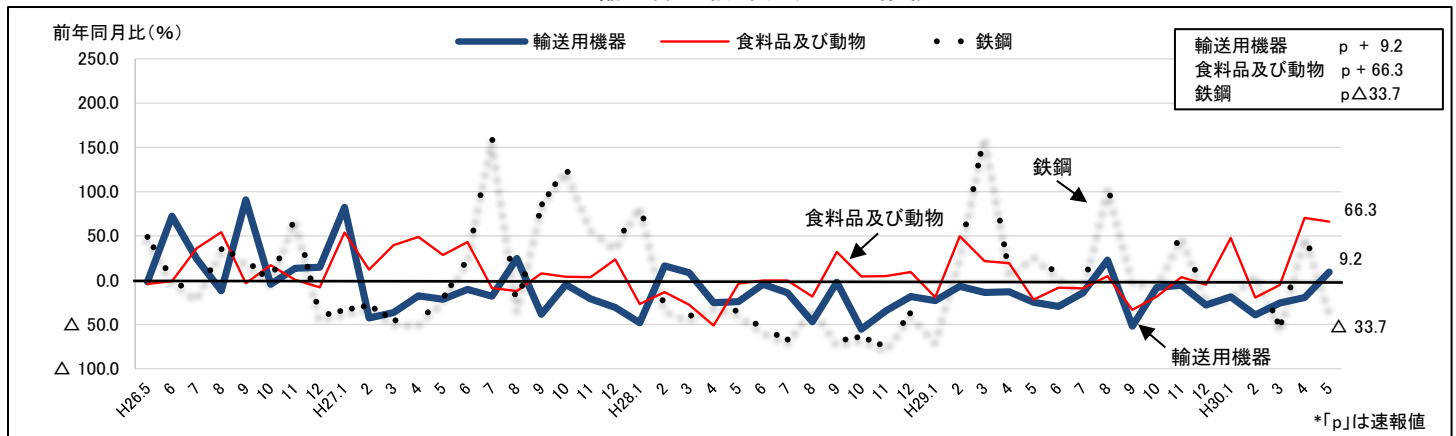
・輸出額は、298億円で前年同月比11.7%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。  
品目別にみると、鉄鋼、有機化合物などが減少したものの、魚介類・同調製品、自動車の部分品、鉱物性タール・粗製薬品などが増加となった。

・輸入額は、1,282億円で同21.1%の増加となり、17か月連続で前年を上回った。  
品目別にみると、船舶、ウッドチップなどが減少したものの、原油・粗油、石炭、石油製品などが増加となった。

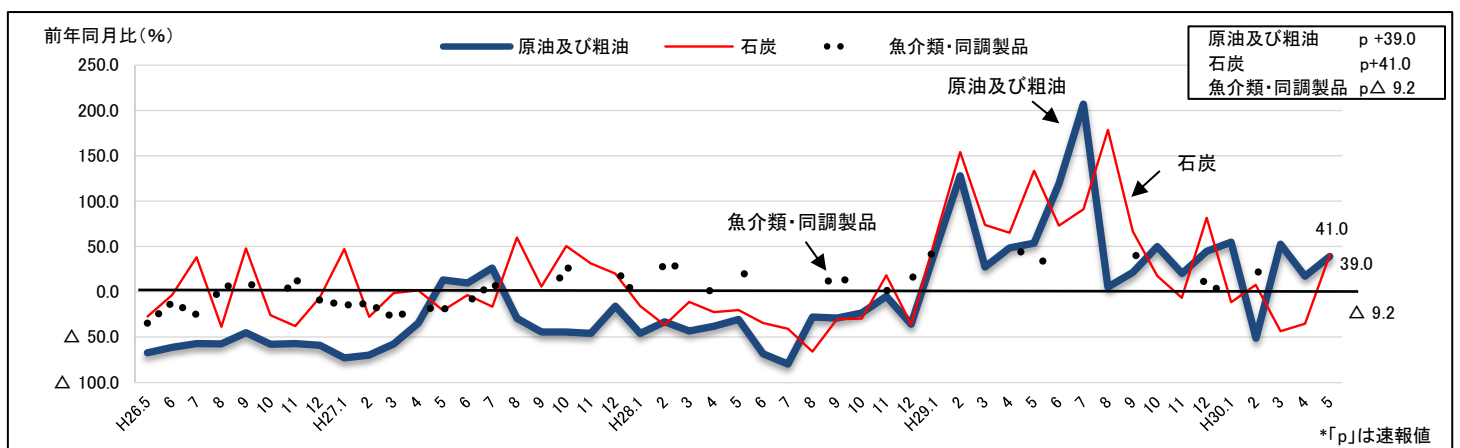
輸出入額と前年同月比



主な輸出品の前年同月比の推移



主な輸入品の前年同月比の推移



(資料：函館税関)

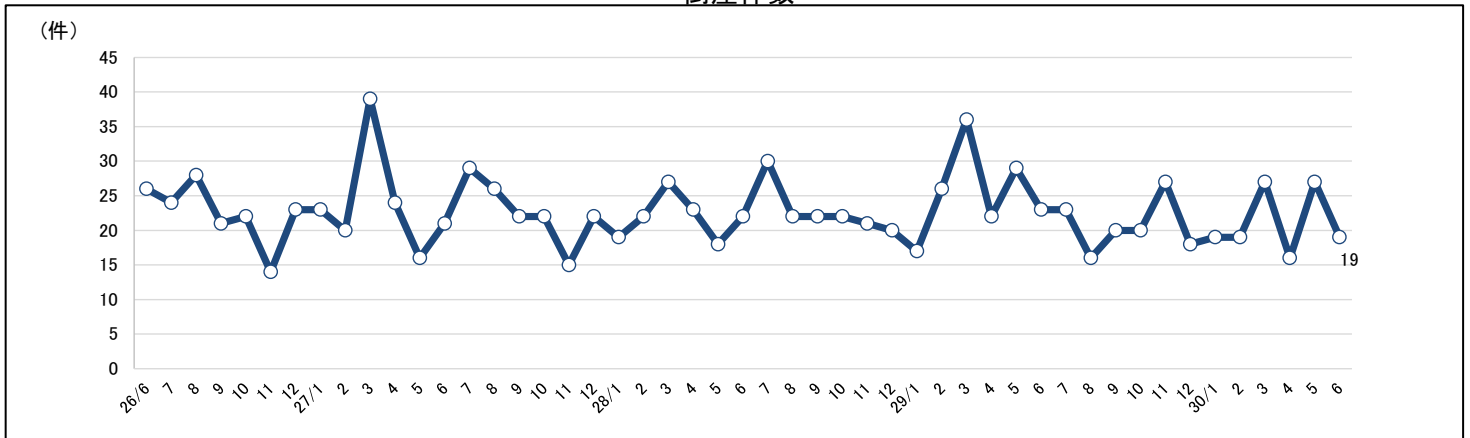
## ■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

### 企業倒産（6月）

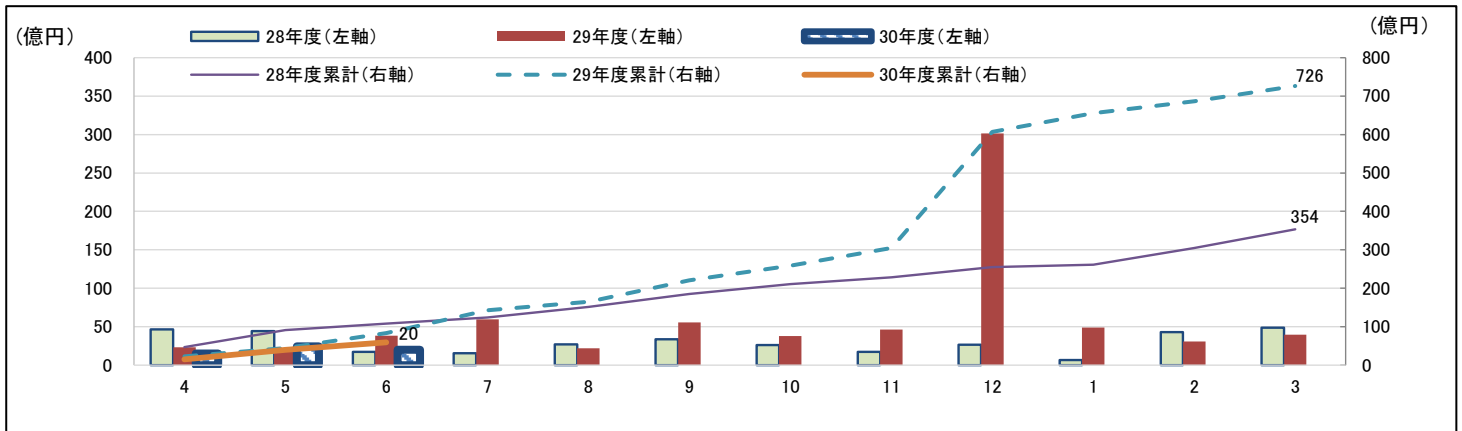
企業倒産件数は、19件で前年同月比17.4%の減少となり、5か月連続で前年を下回り、負債総額は、20億円で同47.9%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

原因別で見ると、販売不振が16件（84.2%）で最多、業種別では、サービス・他が10件（52.6%）で最多となり、卸売業が3件（15.8%）、製造業、小売業が各2件（各10.5%）と続いた。

倒産件数



負債総額



(資料：(株)東京商工リサーチ北海道支社)

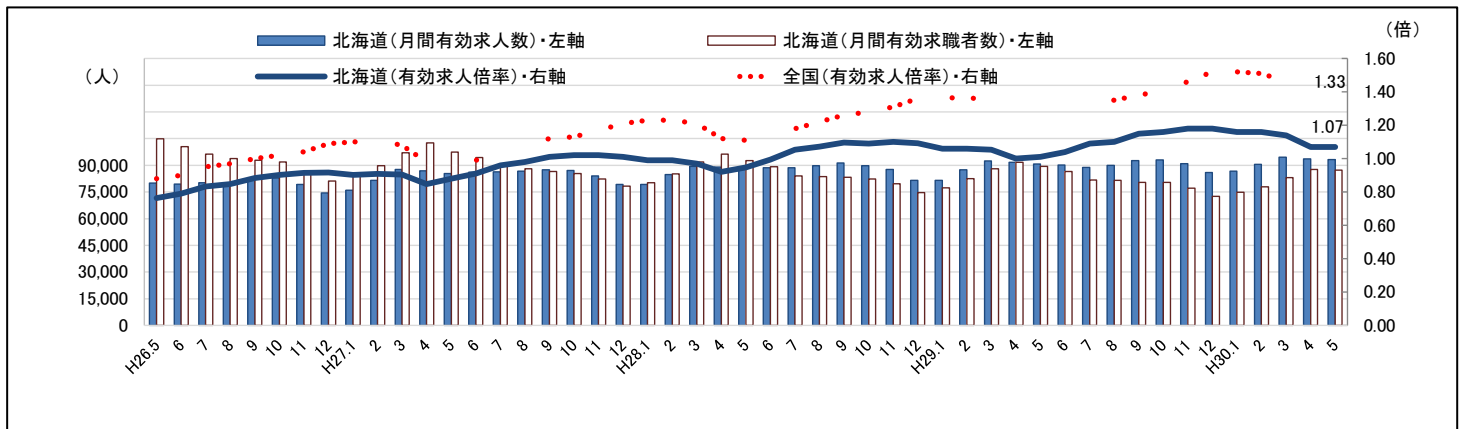


## ■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

### 月間有効求人数・求職者数・有効求人倍率（5月）

月間有効求人数は、9万3,290人で前年同月比2.9%の増加となり、100か月連続で前年を上回った。  
 月間有効求職者数は、8万7,327人で同2.4%の減少となり、79か月連続で前年を下回った。  
 有効求人倍率は、1.07倍で前年同月差で0.06ポイントの増加となり、100か月連続で前年を上回った。

有効求人倍率(常用)・求人数・求職者数



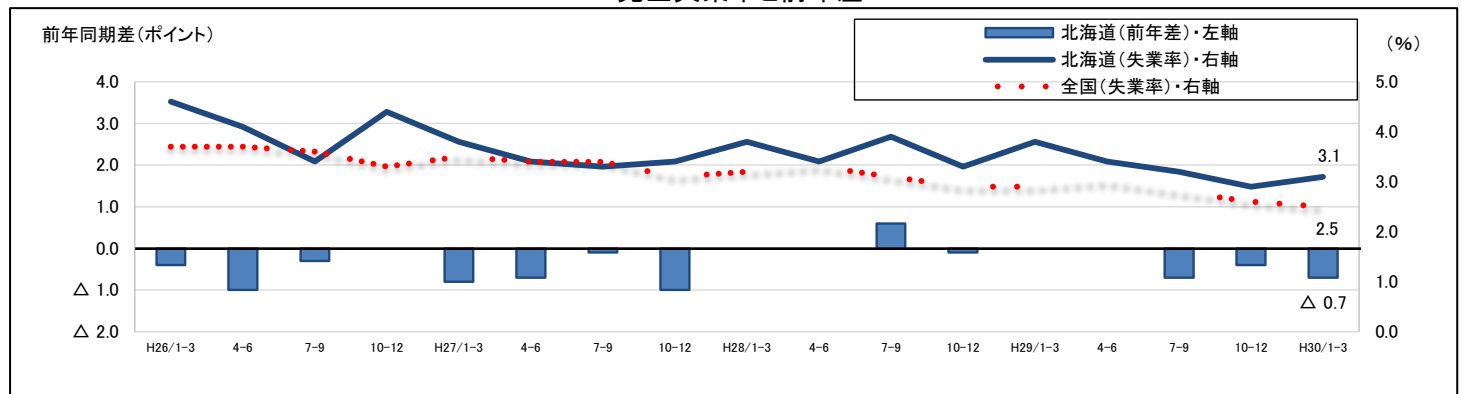
(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

## ■失 業

### 完全失業者数、完全失業率(30年1-3月期)

完全失業者数は、8万人で前年同期と比べ、2万人減少となっている。  
 完全失業率は、3.1%で前年同期と比べ、0.7ポイント低下となっている。

完全失業率と前年差



(資料:厚生労働省及び北海道労働局)

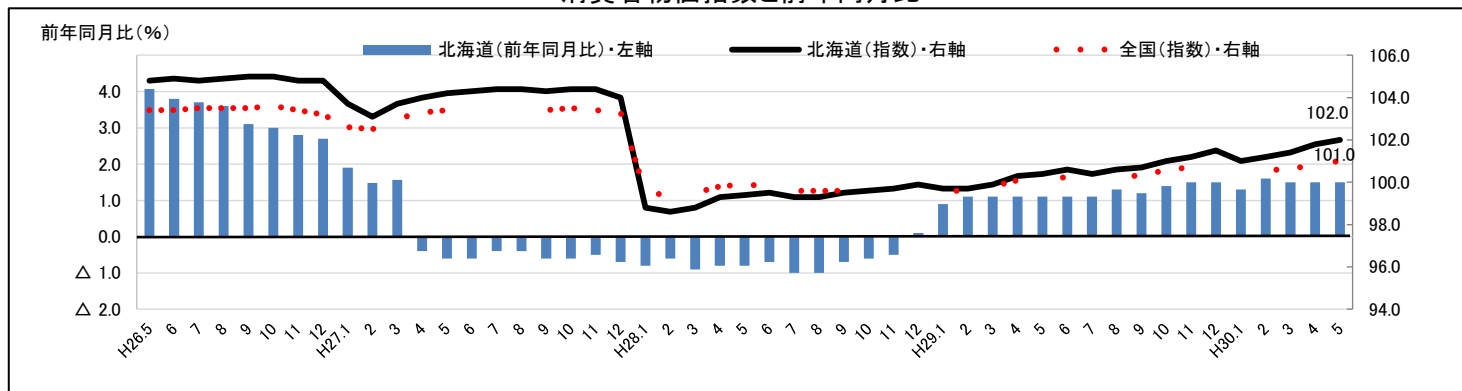
## ■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

### 消費者物価指数(生鮮食品除く)(5月)

消費者物価指数は、102.0で前年同月比1.5%の上昇となり、18か月連続で前年を上回った。

消費者物価指数と前年同月比

(平成27年=100)



(資料:総務省)



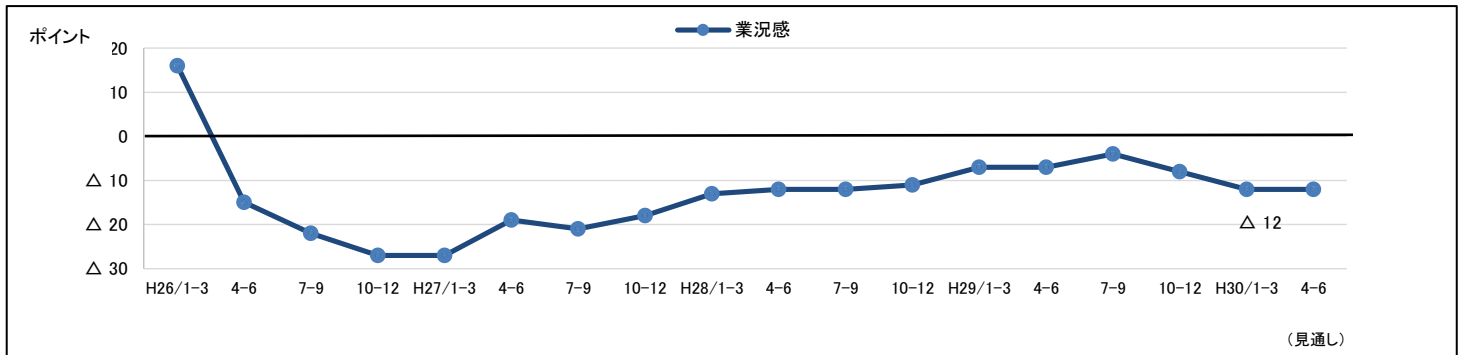
## ■企業の業況感

### 企業経営者意識調査（30年1-3月期）

今期の業況感BSIは、△12で前期から4ポイント下降した。

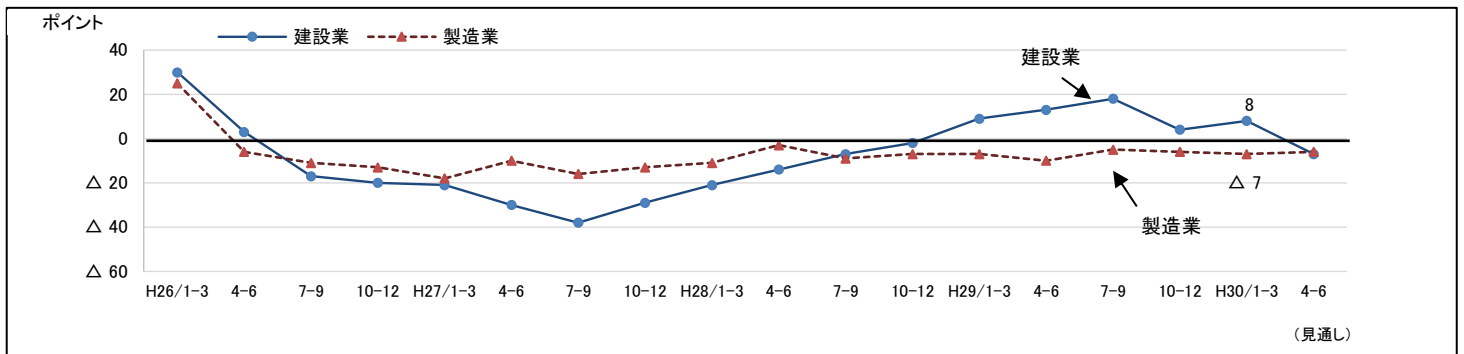
- ・業種別では、建設業、サービス業で上昇、製造業、卸売・小売業、運輸業で下降した。
- ・地域別では、道南、オホーツク、釧路・根室で上昇、道央、道北、十勝で下降した。

企業の業況感の推移



(資料:北海道)

業種別業況感(建設業、製造業)



(資料:北海道)

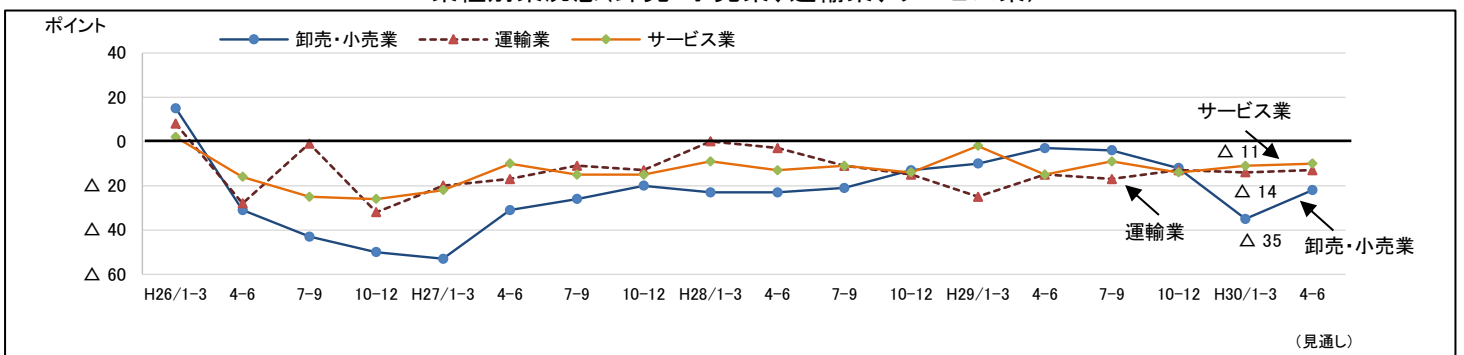
【建設業】 4ポイント上昇 (前期 + 4 → 今期 + 8)

- ・土木工事業や建築工事業がプラスに転換
- ・管工事業でマイナス幅が拡大、一般土木建築工事業や電気工事業でプラス幅が縮小

【製造業】 1ポイント下降 (前期 △ 6 → 今期 △ 7)

- ・製材業、木製品製造業や電子デバイス製造業がマイナスに転換
- ・セメント・同製品製造業、建設用・建築用金属製品製造業などでプラス幅が拡大

業種別業況感(卸売・小売業、運輸業、サービス業)



(資料:北海道)

【卸売・小売業】 23ポイント下降 (前期 △ 12 → 今期 △ 35)

- ・各種食料品小売業がマイナスに転換
- ・農畜産物・水産物卸売業、建築材料卸売業、自動車小売業などでマイナス幅が拡大

【運輸業】 1ポイント下降 (前期 △ 13 → 今期 △ 14)

- ・一般貨物自動車運送業がマイナスに転換、倉庫業のプラス幅が縮小
- ・沿海海運業がプラスに転換、一般貸切旅客自動車運送業のプラス幅が拡大、一般乗用旅客自動車運送業のマイナス幅が縮小

【サービス業】 3ポイント上昇 (前期 △ 14 → 今期 △ 11)

- ・旅館・ホテル業がプラスに転換、ソフトウェア業でプラス幅が拡大
- ・土木建築サービス業(測量業)がマイナスに転換、労働者派遣業でマイナス幅が拡大

## [企業情報]

### □企業のみなさまから伺いました

#### ◆百貨店（道央地域）

##### 【セールを前倒しで開催したこともあり売上は増加】

6月は、昨年7月に開催したセールを前倒ししたほか、月前半に暑い日が続いたことで夏物衣料品が好調だったことから、売上は前年を上回った。また、インバウンド消費についても、トレンドは変わらず売上は好調に推移した。

今後、前倒ししたセールに代わり、集客材となる催事・コト企画等を実施予定。

#### ◆スーパー（道央地域）

##### 【月前半の好天などにより売上は前年を上回る】

6月は、月末に気温が低く雨の日が多かったものの、前半が好天に恵まれたことで、飲み物や冷たい麺などの涼味商材が伸びたことに加え、買い物に行く機会となる土曜日が1日多かったことから、前年を若干上回る売上となった。

また、ギフト商品のメロンの予約が好調なほか、酒類についても、酒税法の改正により値段が上がったものの、安定した売れ行きとなった。

#### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

##### 【サッカーワールドカップ観戦に伴い売上が増加】

6月は前半好天に恵まれた為、アイスやビール、冷麺といった商品が大きく増加した。またワールドカップサッカー観戦に伴い、菓子や飲料水、アルコール類の消費が増えた。

##### 【消費者の節約志向は強いまま】

消費者の節約志向は変わらず、特に、高齢者は将来の不安から節約傾向が強く、日常的な消費にはシビアである。

#### ◆製造業（道東地域）

##### 【不漁により原料価格が高騰】

道東地域のサンマやサケの水揚げ量が減少しているために原料価格が高騰しており、製品価格に転嫁せざるを得ない状況。また、道東の魚種変化に対応した生産・商品開発が課題。

##### 【人手不足感】

新卒の求人を出してはいるが、なかなか応募がない状況。また、繁忙期にはパートなどの従業員が不足する場合もあり、そのときは不足分を補うために派遣会社に依頼することもある。

#### ◆製造業（道東地域）

##### 【業績は横ばい】

現状の業績については横ばいという感じだが、将来的には公共工事の発注が増加する見込みが少ないため、新たな分野にもチャレンジしていきたい。また、IoTの積極的な活用や機械設備の導入により、生産能力の向上やローコスト化を図っている。

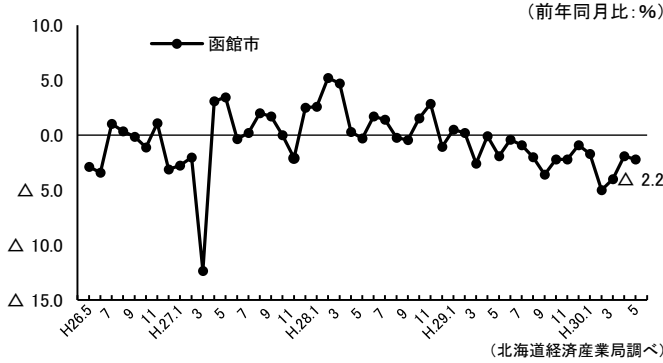
働き方改革の一環として休日を増やすとともに、シニアや女性、障がい者の活用などダイバーシティに取り組んでいる。

[地域の経済動向]

■道南地域(渡島、檜山)

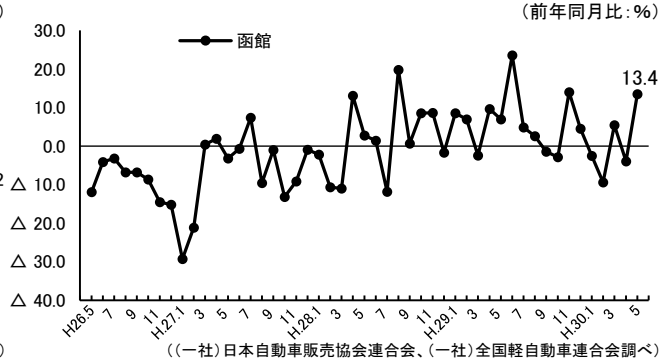
◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(5月)

15か月連続で前年を下回った



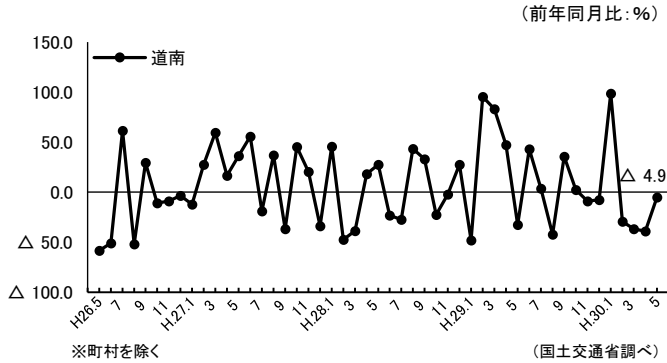
◆新車登録台数(乗用車)(5月)

2か月ぶりに前年を上回った



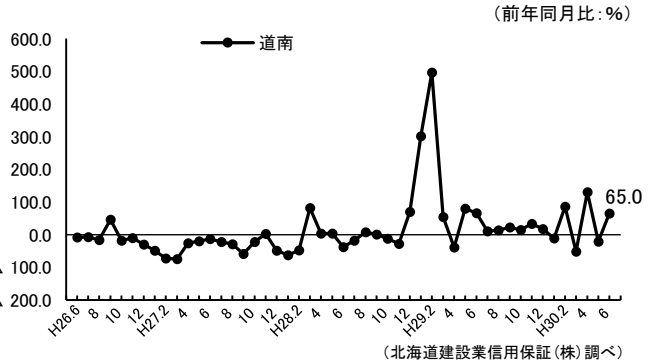
◆新設住宅着工戸数(5月)

4か月連続で前年を下回った



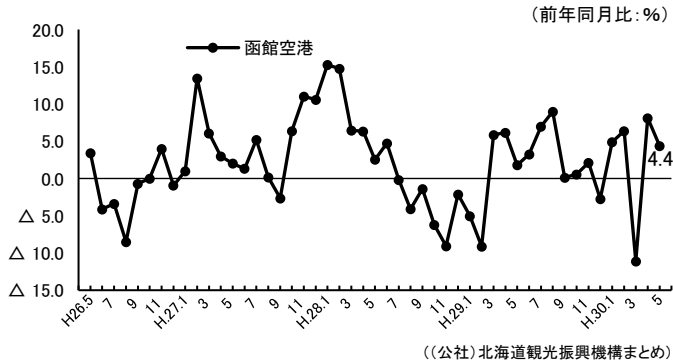
◆公共工事請負金額(6月)

2か月ぶりに前年を上回った



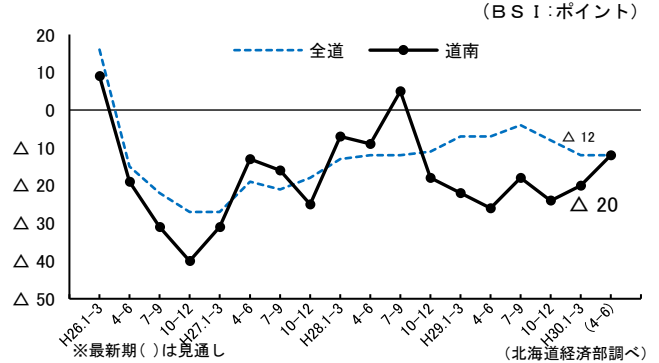
◆航空機利用による来道者数(着地別)(5月)

2か月連続で前年を上回った



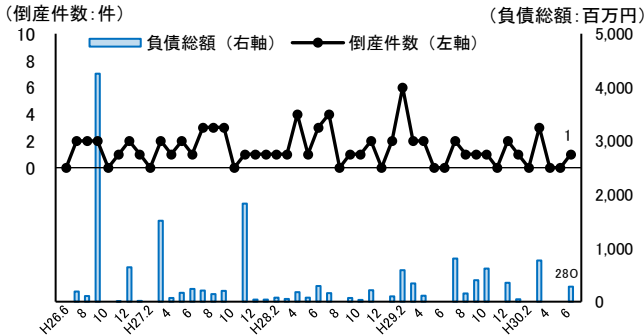
◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した



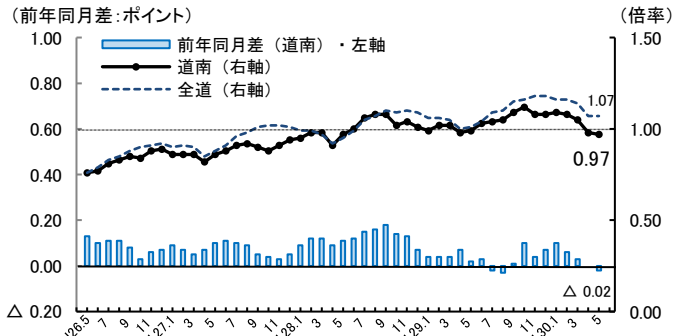
◆企業倒産件数・負債総額(6月)

10億円以上の大型倒産は発生しなかった



◆有効求人倍率(常用)(5月)

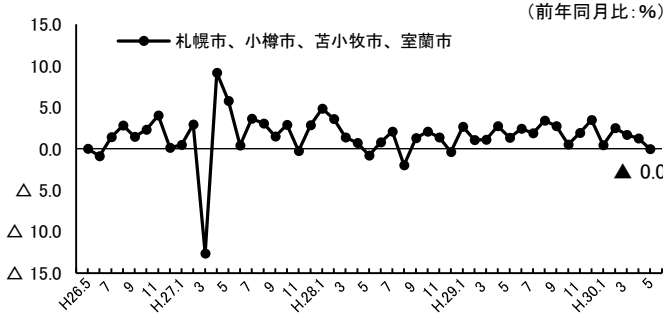
9か月ぶりに前年を下回った



# 道央地域（石狩、空知、後志、胆振、日高）

## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (5月)

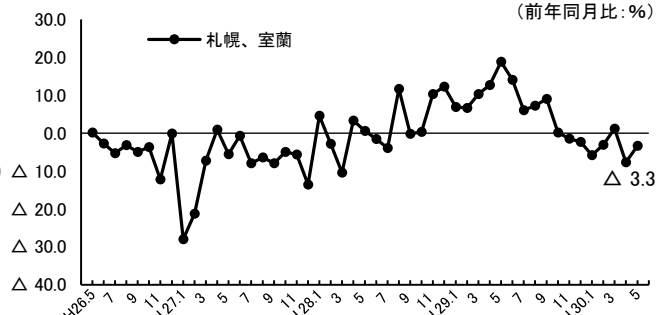
17か月ぶりに前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

## ◆新車登録台数(乗用車) (5月)

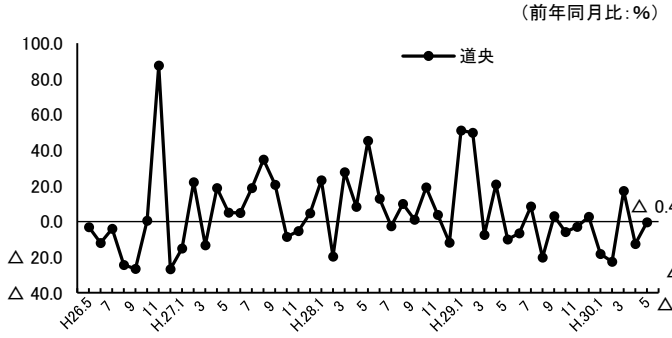
2か月連続で前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

## ◆新設住宅着工戸数 (5月)

2か月連続で前年を下回った

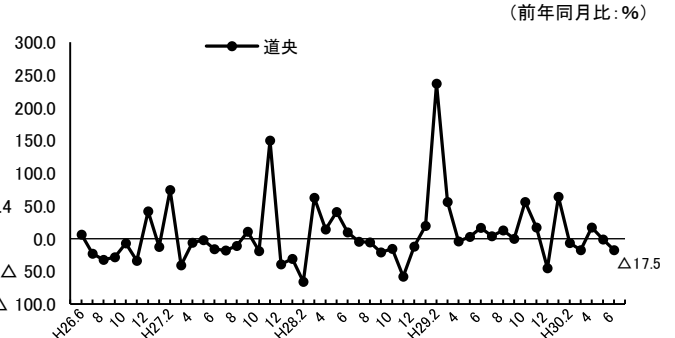


※町村を除く

(国土交通省調べ)

## ◆公共工事請負金額 (6月)

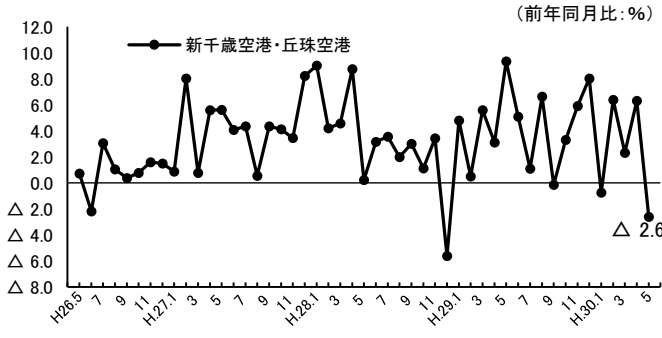
2か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

## ◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)

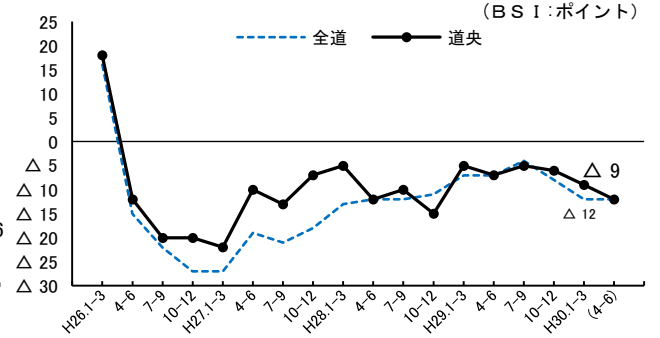
4か月ぶりに前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

## ◆企業の業況感 (1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した

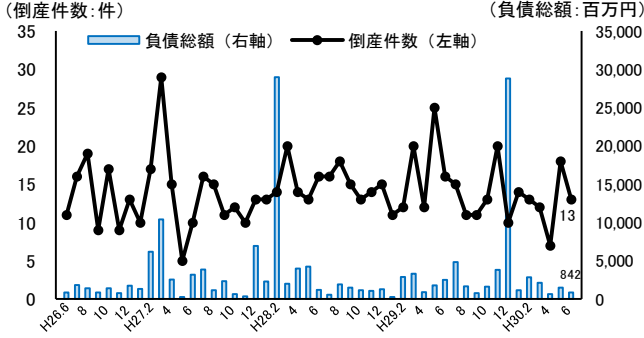


※最新期( )は見通し

(北海道経済部調べ)

## ◆企業倒産件数・負債総額 (6月)

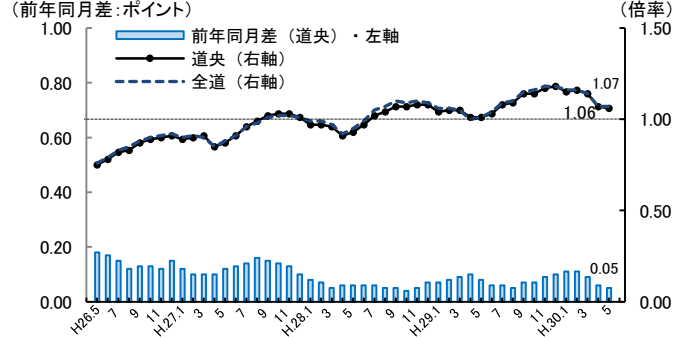
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ◆有効求人倍率(常用) (5月)

99か月連続で前年を上回った

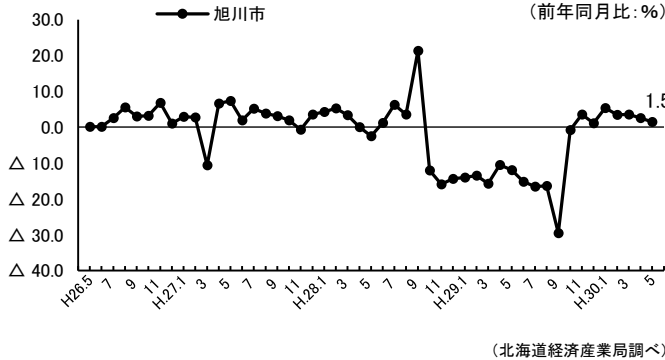


(北海道労働局調べ)

## 道北地域(留萌、上川、宗谷)

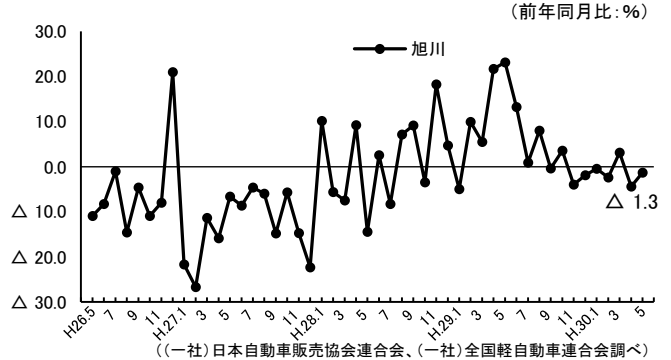
### ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(5月)

7か月連続で前年を上回った



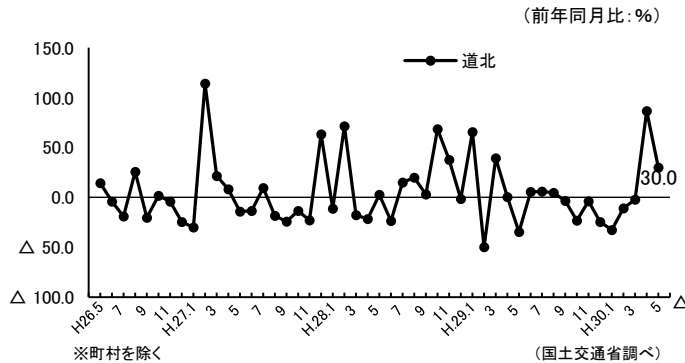
### ◆新車登録台数(乗用車)(5月)

2か月連続で前年を下回った



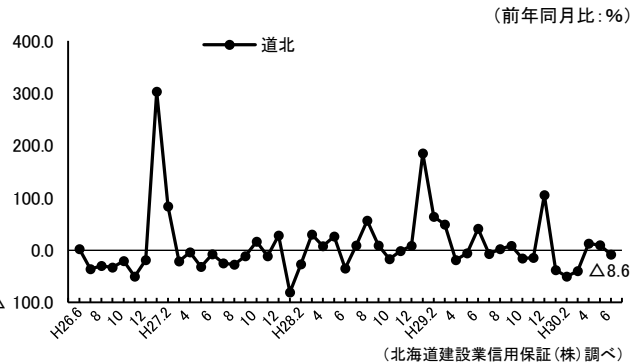
### ◆新設住宅着工戸数(5月)

2か月連続で前年を上回った



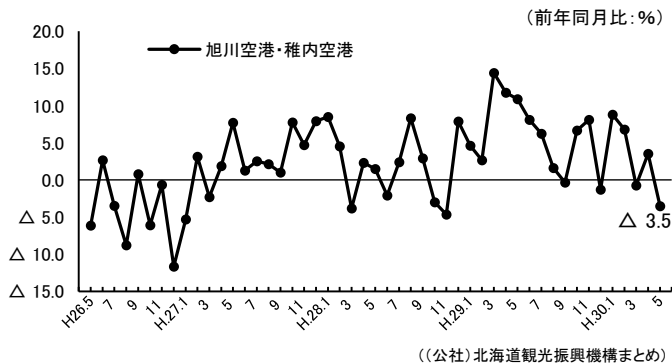
### ◆公共工事請負金額(6月)

3か月ぶりに前年を下回った



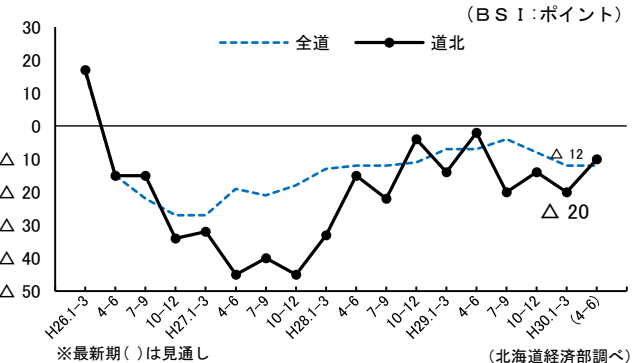
### ◆航空機利用による来道者数(着地別)(5月)

2か月ぶりに前年を下回った



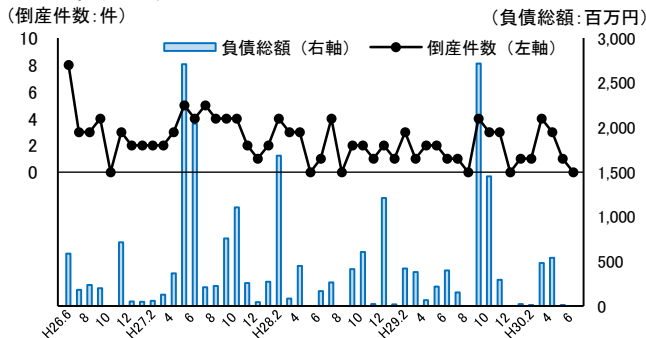
### ◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が拡大した



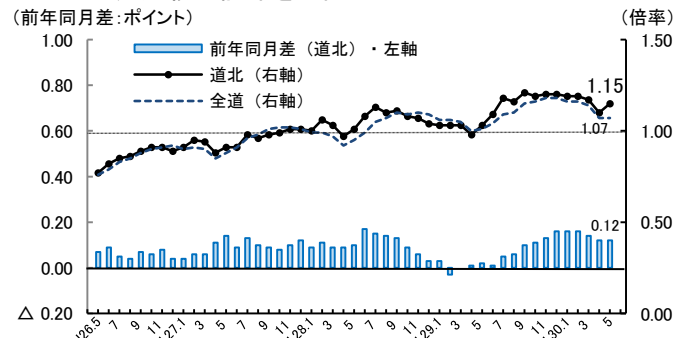
### ◆企業倒産件数・負債総額(6月)

倒産は発生しなかった



### ◆有効求人倍率(常用)(5月)

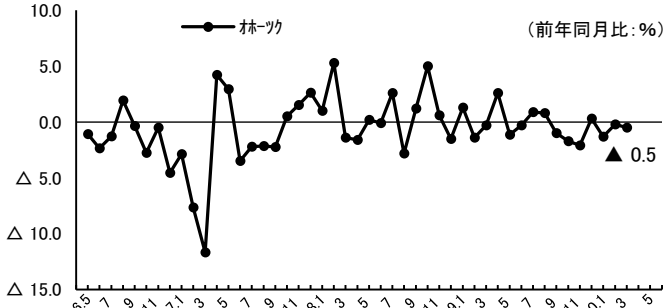
14か月連続で前年を上回った



# オホーツク地域

## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース)(3月)

3か月連続で前年を下回った

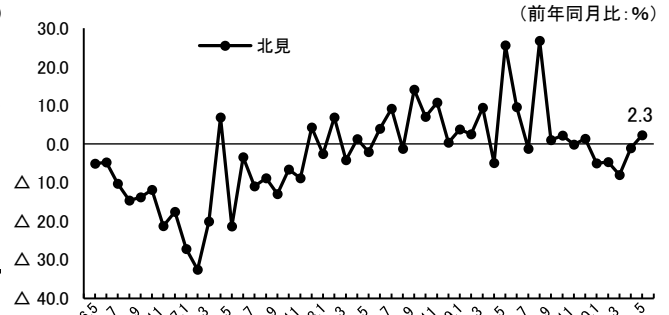


※全道は大型小売販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

## ◆新車登録台数(乗用車)(5月)

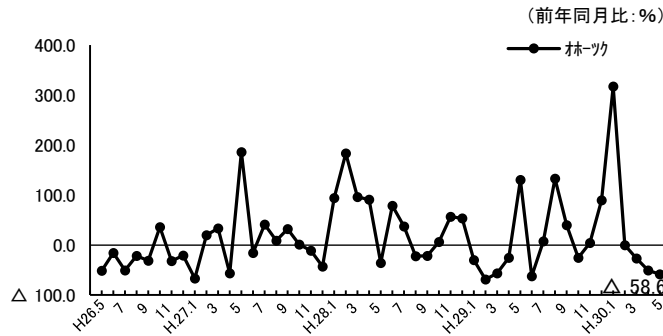
5か月ぶりに前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

## ◆新設住宅着工戸数(5月)

3か月連続で前年を下回った

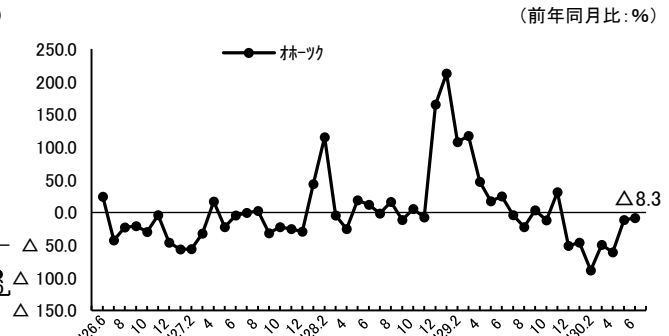


※町村を除く

(国土交通省調べ)

## ◆公共工事請負金額(6月)

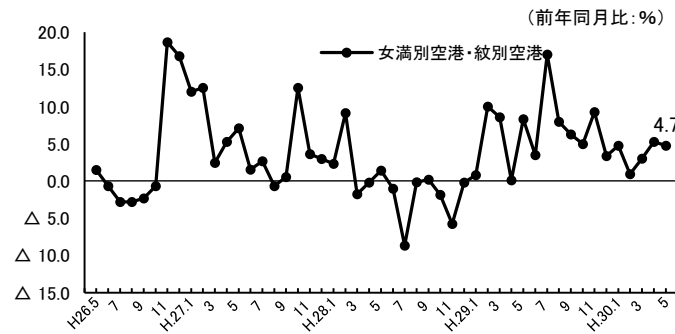
7か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

## ◆航空機利用による来道者数(着地別)(5月)

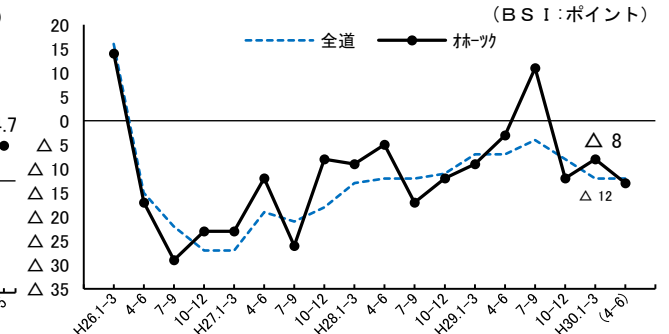
17か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

## ◆企業の業況感(1-3月期)

前期からマイナス幅が縮小した

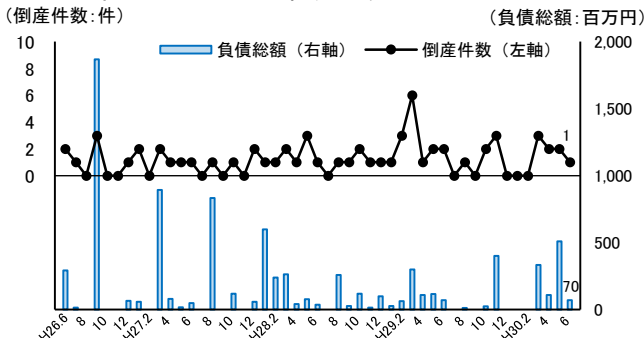


※最新( )は見通し

(北海道経済部調べ)

## ◆企業倒産件数・負債総額(6月)

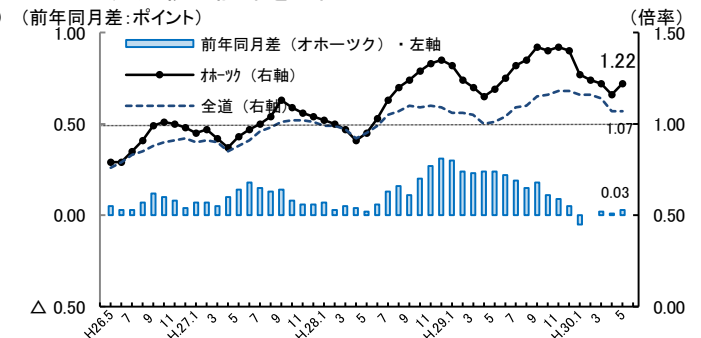
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

## ◆有効求人倍率(常用)(5月)

3か月連続で前年を上回った

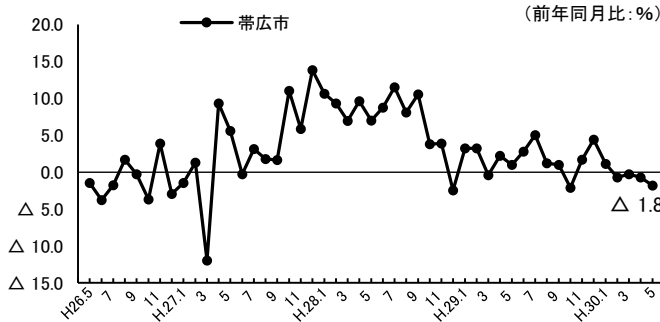


(北海道労働局調べ)

# 十勝地域

## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (5月)

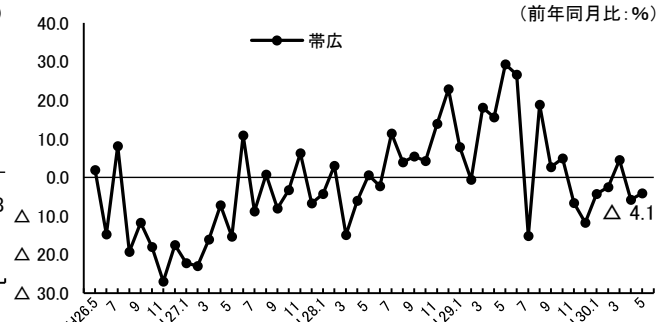
4か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

## ◆新車登録台数(乗用車) (5月)

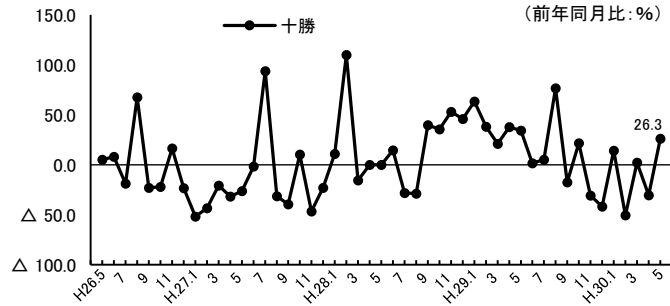
2か月連続で前年を下回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

## ◆新設住宅着工戸数 (5月)

2か月ぶりに前年を上回った

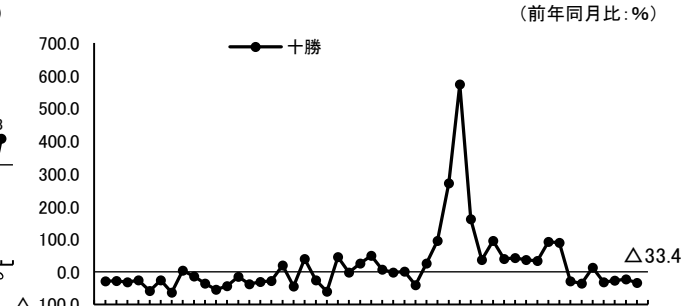


※町村を除く

(国土交通省調べ)

## ◆公共工事請負金額 (6月)

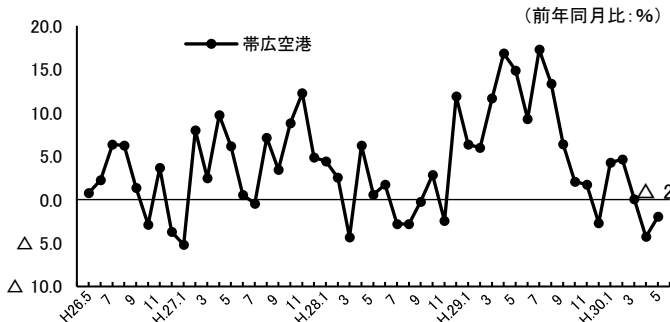
4か月連続で前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

## ◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月)

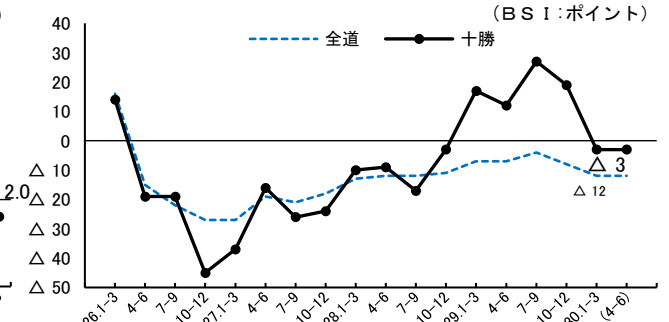
2か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

## ◆企業の業況感 (1-3月期)

今期はマイナスに転換した

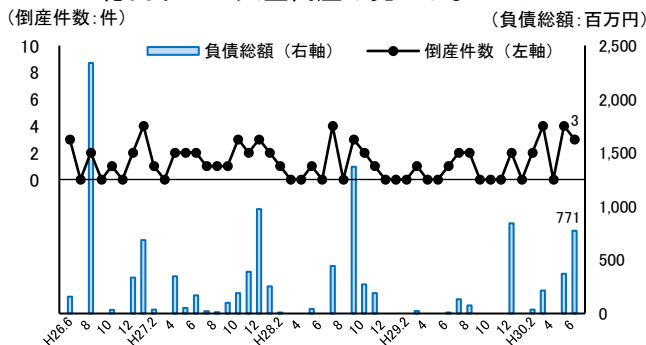


※最新期( )は見通し

(北海道経済部調べ)

## ◆企業倒産件数・負債総額 (6月)

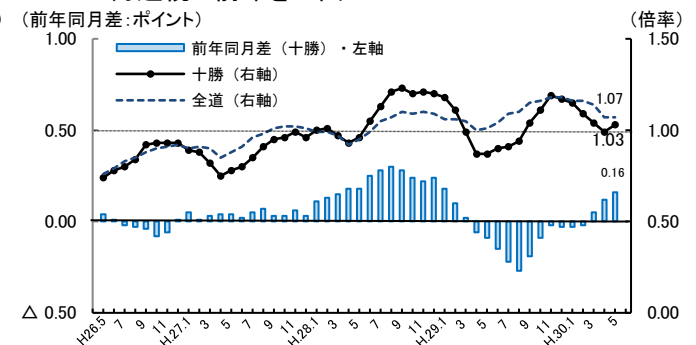
10億円以上の大型倒産は発生しなかった



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ) - 14 -

## ◆有効求人倍率(常用) (5月)

3か月連続で前年を上回った

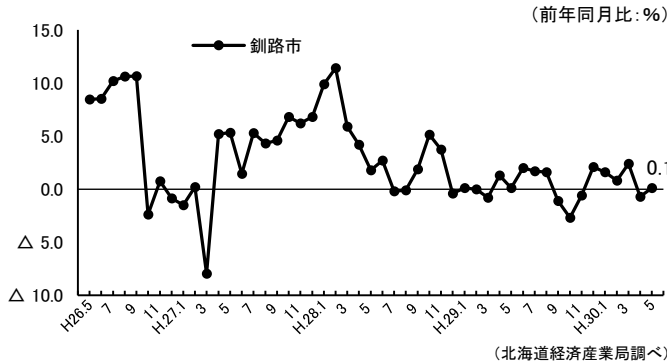


(北海道労働局調べ)

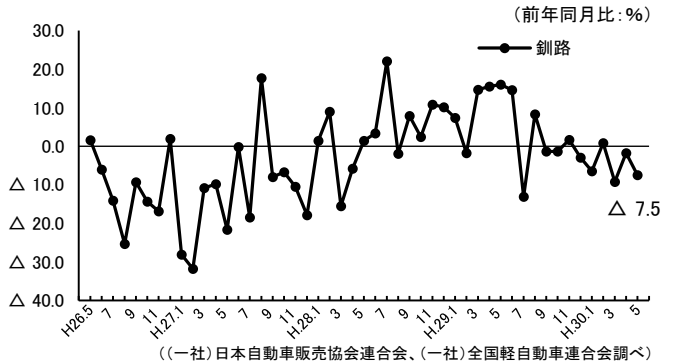


# 釧路・根室地域

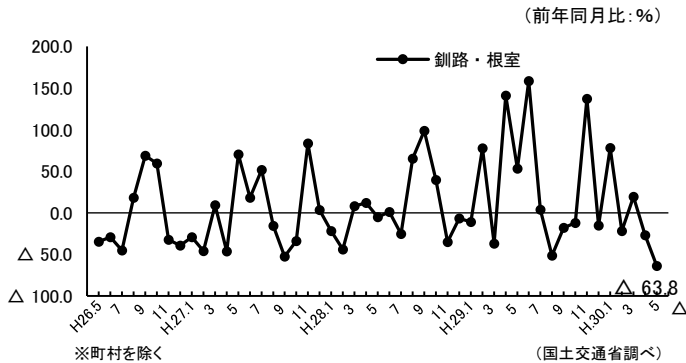
## ◆百貨店・スーパー販売額(全店ベース) (5月) 2か月ぶりに前年を上回った



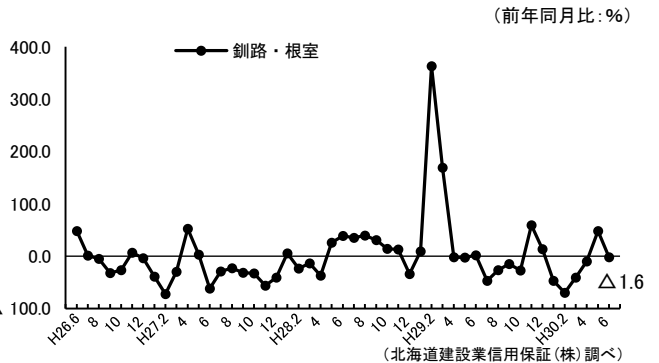
## ◆新車登録台数(乗用車) (5月) 3か月連続で前年を下回った



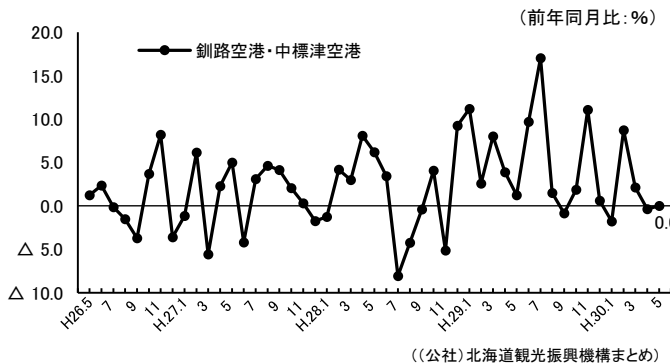
## ◆新設住宅着工戸数 (5月) 2か月連続で前年を下回った



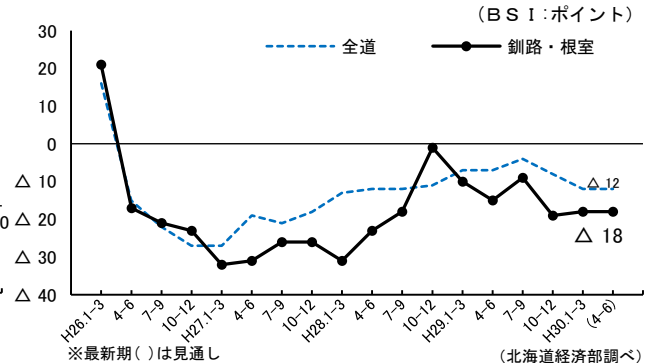
## ◆公共工事請負金額 (6月) 2か月ぶりに前年を下回った



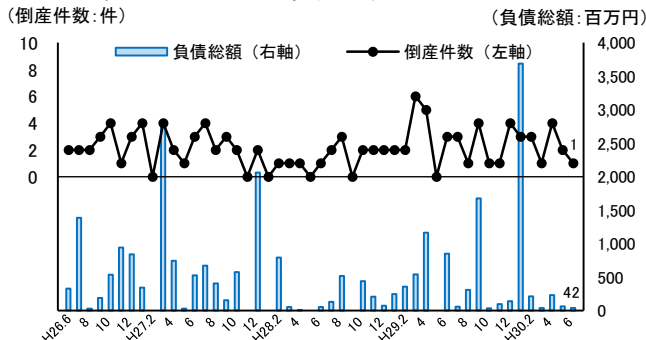
## ◆航空機利用による来道者数(着地別) (5月) 2か月ぶりに前年を上回った



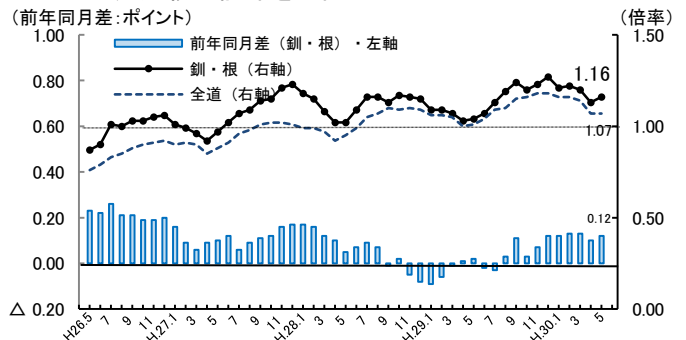
## ◆企業の業況感(1-3月期) 前期からマイナス幅が縮小した



## ◆企業倒産件数・負債総額 (6月) 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



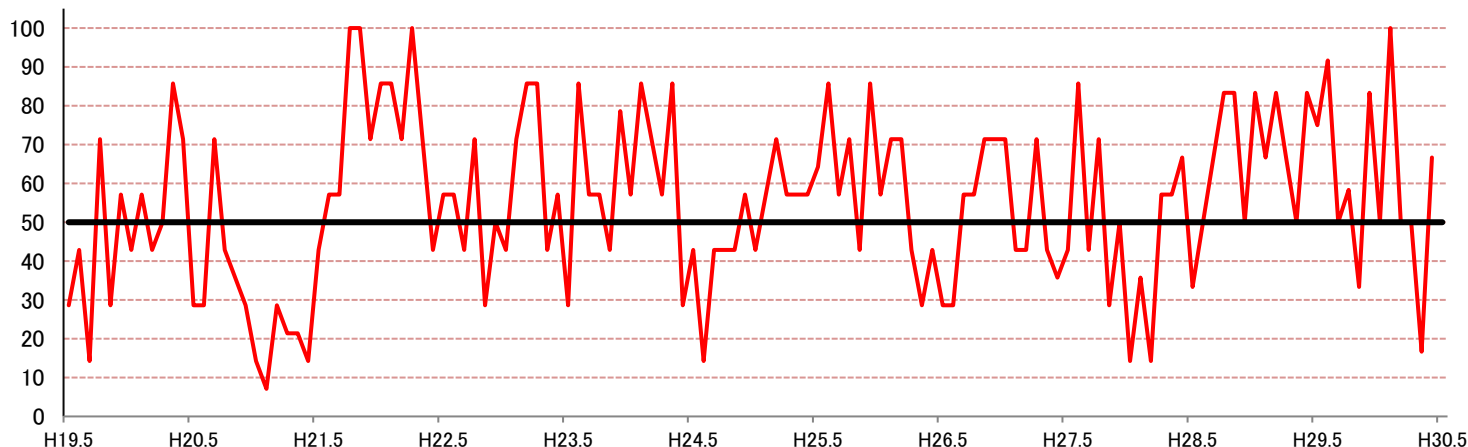
## ◆有効求人倍率(常用) (5月) 10か月連続で前年を上回った



[景気動向指数]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		29/ 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30/ 1月	2月	3月	4月	5月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	-	-
	生産指数(生産財)	+	-	+	+	-	+	+	+	-	-	-	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+
	新設住宅着工戸数	-	-	-	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+
	企業業況判断D.I.	+	+	+	+	+	0	0	0	-	-	-	+	+
	拡張系列数	3	3	4	5	4	2.5	4.5	3.5	2	2	3	4	6
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	42.9	42.9	57.1	71.4	57.1	35.7	64.3	50.0	28.6	28.6	42.9	r 57.1	p 85.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	0	0	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-
	生産指数(鉱工業)	+	+	-	0	-	+	-	+	-	-	-	r +	p +
	出荷指数(生産財)	+	+	-	-	-	+	+	+	-	-	-	r +	p +
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	+	-	+	-	+	-	-	-	r +	p -
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	-	r +	p -
	拡張系列数	4.5	5.5	3	3.5	2	5	3	6	3	3	1	4	2
	採用系列数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一致指数	75.0	91.7	50.0	58.3	33.3	83.3	50.0	100.0	50.0	50.0	16.7	r 66.7	p 33.3	
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	-	-	-	+	+	+	+	+	-	-	-	+	
	完全失業率(逆サイクル)	0	0	+	+	+	-	-	-	+	+	+		
	消費者物価指数(総合)	-	+	0	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	+	+	+	+	+	-	-	+	-	+	-	+
	生産指数(資本財)	+	+	-	+	-	+	-	+	-	+	+	r +	p +
	拡張系列数	1.5	3.5	2.5	5	3	3	1	3	3	3	4	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	3
遅行指数	30.0	70.0	50.0	100.0	60.0	60.0	20.0	60.0	60.0	60.0	80.0	r 50.0	p 66.7	

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3カ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向  
平成30年7月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>